



環日本海・東アジア諸国図

本当の豊かさを 北陸から



JT生命誌研究館 館長

中村 桂子氏
なかむら けいこ

グローバル社会と言われる中、金融資本主義に翻弄され、そこで生まれる格差が多くの人を生きにくくしています。先日、懸命に生きていく普通の人がもって生き生き暮らせる社会にしたいという思いを語りましたら、大企業の経営者が、自分もそう思うけれど、海外株主の要求に応えるために短期利益をあげる他ないのだとおっしゃいました。

霞を食べて生きて行けるはずはなく、経済は重要です。でも今は、完全にアウェイでの戦いです。経済を支える科学技術のイノベーション競争を見てそれを感じます。欧米、とくに米国は、自分の中から出てきた要求で動いていますから、体系的、合理的に開発計画を立て、実施しています。一方日本は、その中、つまり相手のフィールドでウロウロしているのです。これでは勝てるわけがありません。短期的視野で、相手の価値観や方法の中で戦おうとせず、自分自身で本当に大切なこと、必要なことを考え、長期作戦を立ててこそ暮らしやすい社会づくりができるはず。すでに、失なわれた十年とか二十年とか言う時間を過したのです。

思い切つて十年、二十年先を見て自分で考え、自分らしい技術開発や経営をする決心をしたいものです。

それには一極集中でなく、地方がそれぞれの地域の特徴を生かす社会づくりをするしかありません。一極集中の難は、単に人口や経済が東京圏に集まっているだけでなく、社会を動かす力が東京から出ているところにあります。東京での発想は、単眼思考です。その点、地方では東京と自分の場に基づく複眼思考ができます。

私の仕事部屋には、富山県作成の「環日本海・東アジア諸国図」地図が貼つてあります。訪れる方の誰もがこれを見ると日本の見方が変わると言います。この地図に見られる北陸のポテンシャルは外からあれこれ言うまでもありません。細々したことは申しませんが、北陸特有の文化や先端技術は魅力的で将来を感じます。北陸新幹線が走ります。これを北陸の人が東京へ行く線ではなく、東京の人の眼が北陸へ向き、実際にこちらへ来る線にして下さい。そして、本当の豊かさを伝えて下さい。日本のこれからのために。

※ 地図は、富山県が作成した地図を転載したものである。(平24情使第238号)